

15. 市町村の基本健診結果の比較（平成18年度）

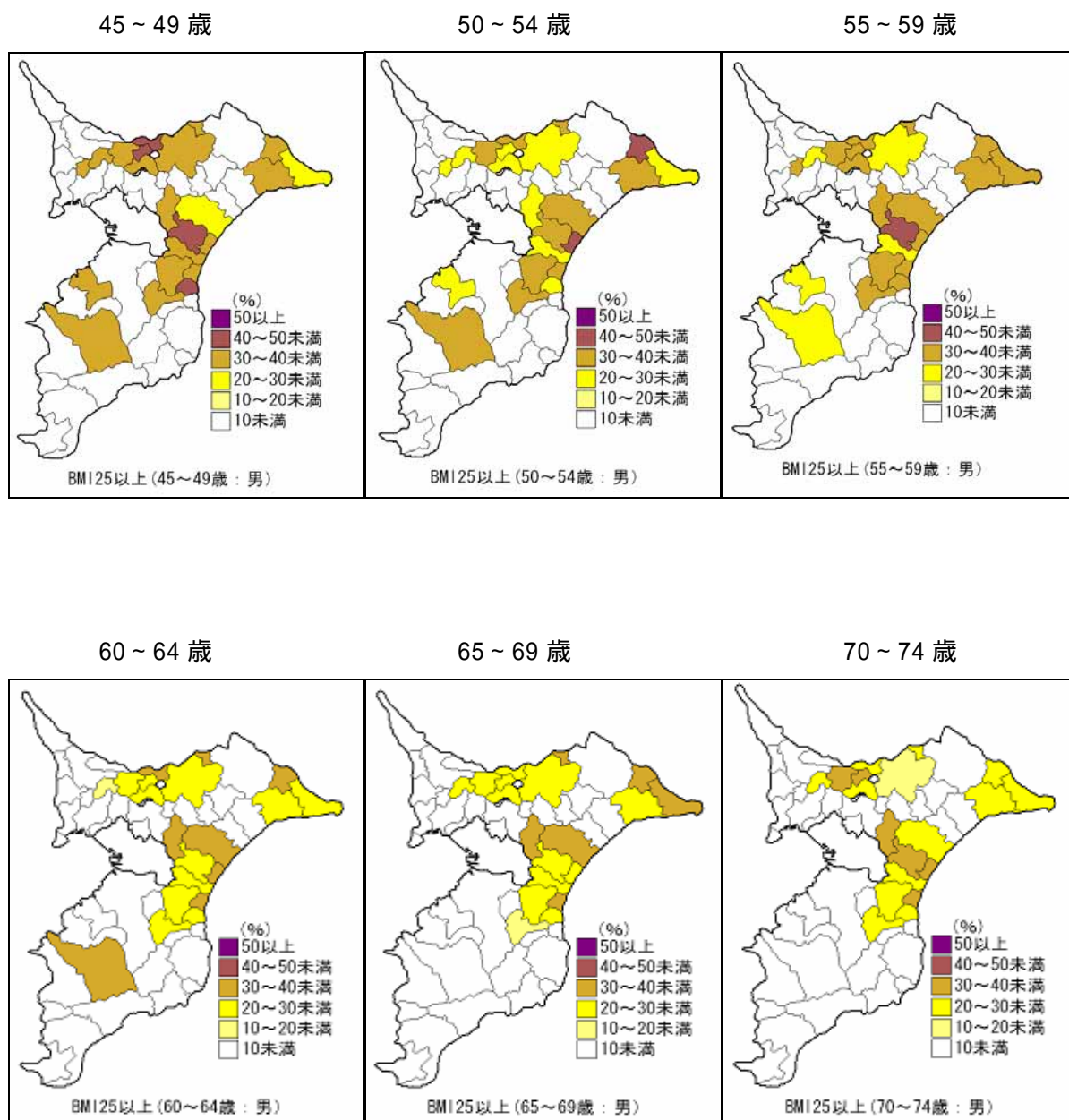
22市町村の基本健診結果について、45歳から74歳までの者について性・年齢階級別に「要指導・要医療」に該当した割合を比較した。

（1）肥満

男性では、市町村によって偏った傾向はみられなかった。

全体では、45～49歳ではBMI25以上の者で3割以上を占める地域が大部分であったが、年齢が高くなるとBMI25以上の割合は低下する傾向がみられた。

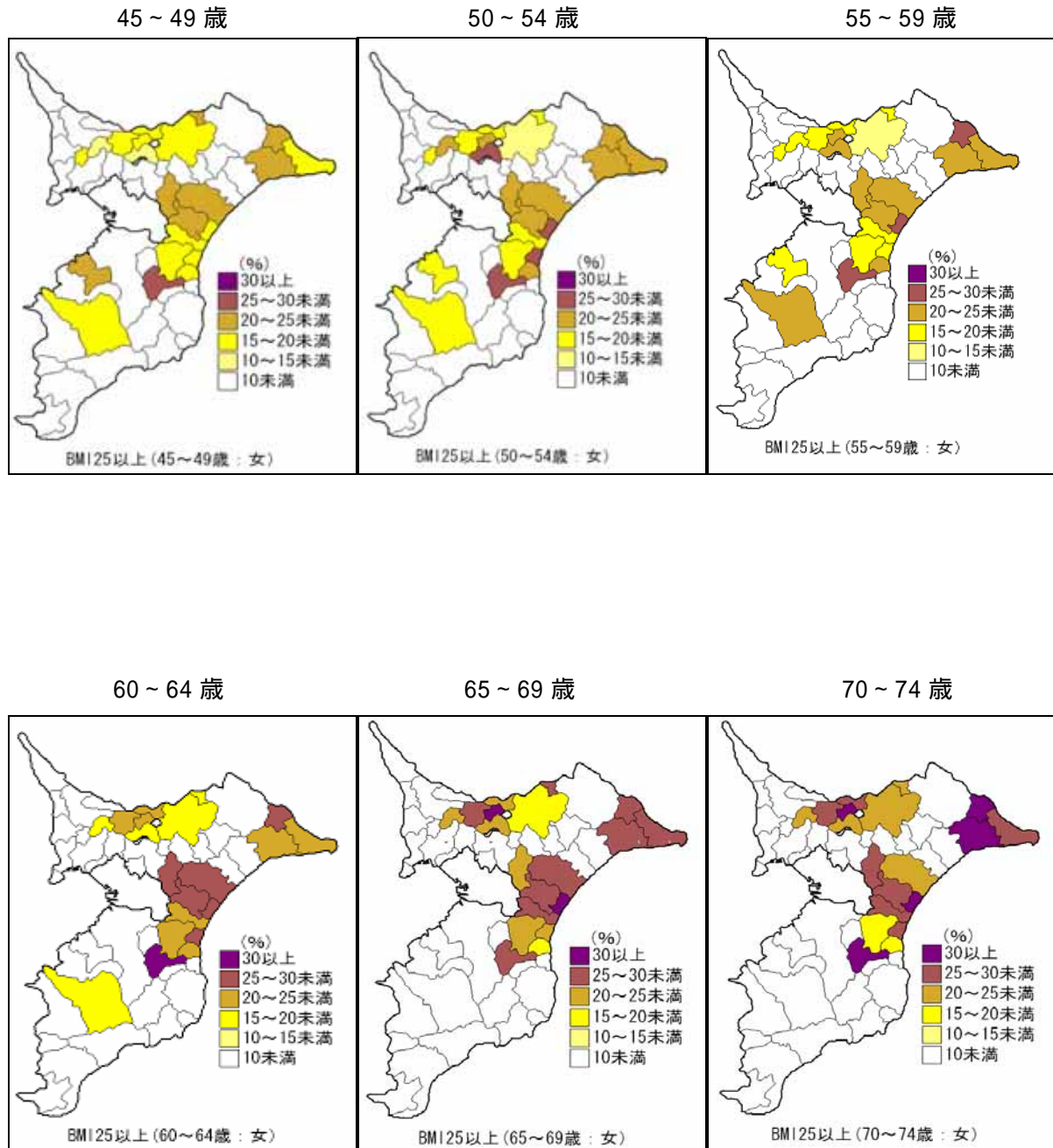
図40-1 BMIが25以上の割合の地区比較(男)



女性では、全年代において BMI25 以上の割合が高い市町村、低い市町村がみられ、男性に比べて地域差が明確であった。

全体では、年代が高くなると BMI25 以上の該当者の割合が増加し、70～74 歳では半数以上の市町村で BMI25 以上が受診者の 25% 以上となっていた。

図 40-2 BMI が 25 以上の割合の地区比較(女)

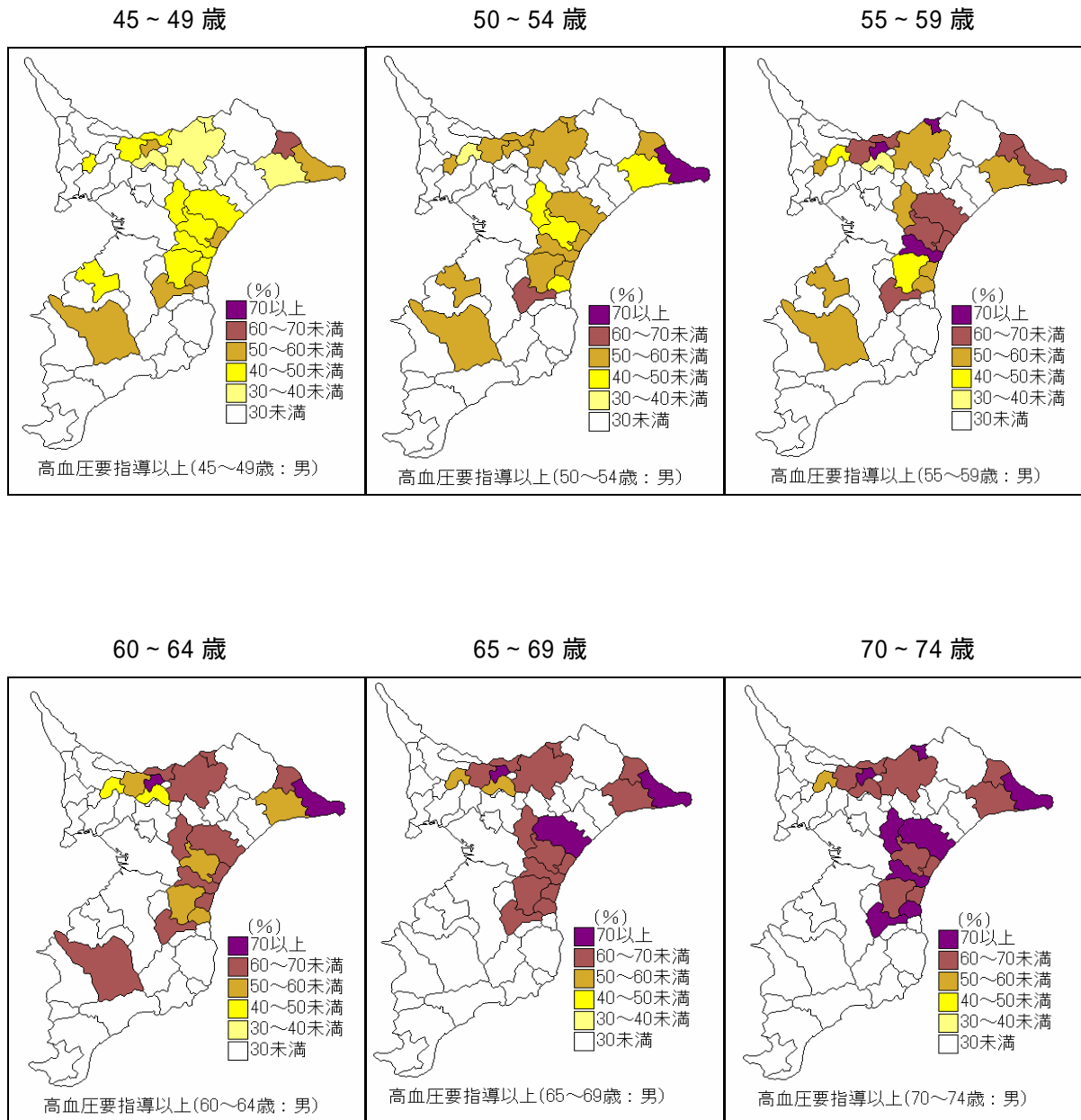


(2) 血圧

男性では、いずれの市町村においても年齢階級が上がると「正常高値・要指導・要医療」の判定を受ける者の割合が高くなっていった。

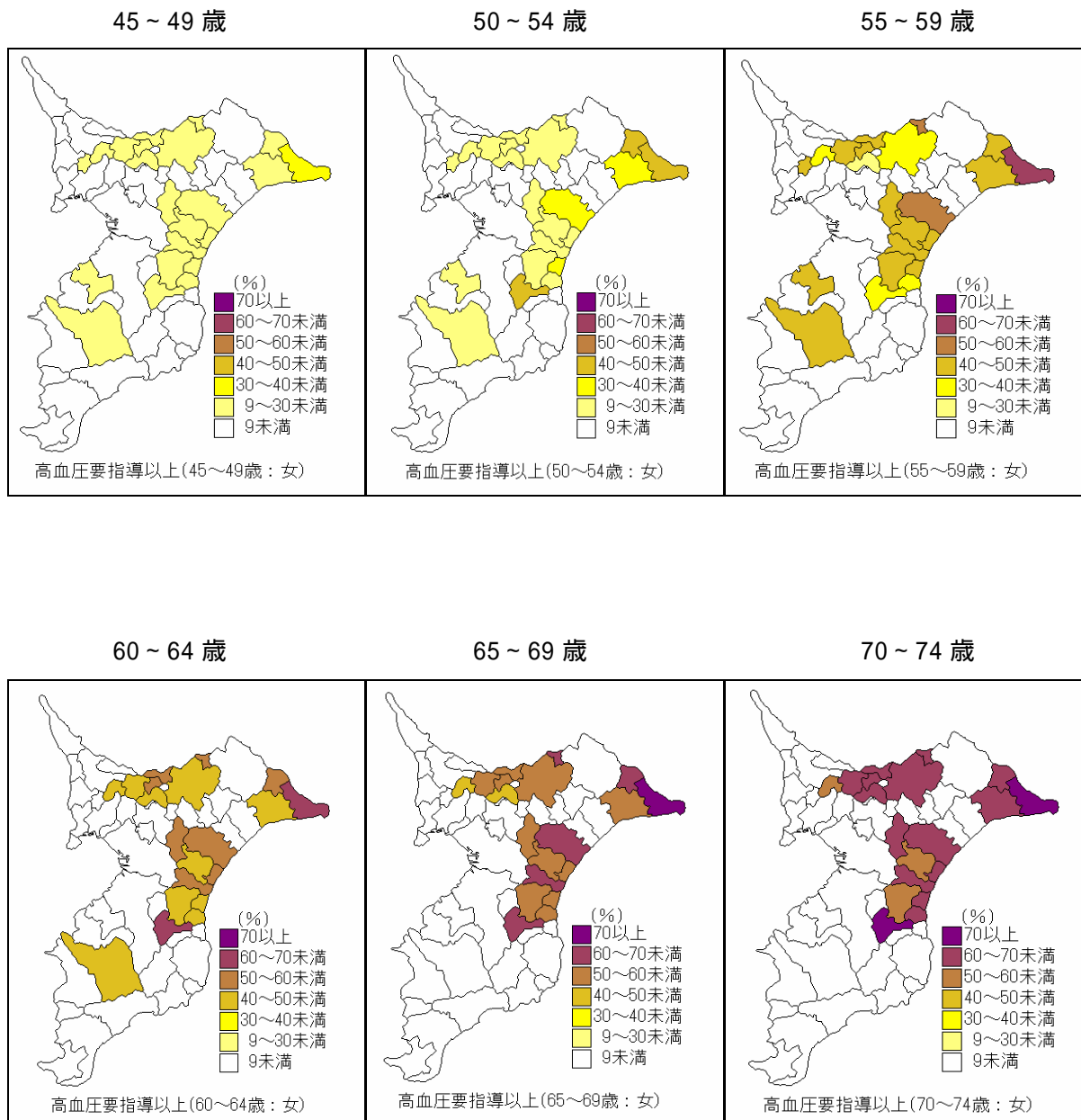
また、各年代において「正常高値・要指導・要医療」の割合が高い地域もあり、全体に血圧が高い者の多い地域とそうではない地域があることがうかがわれた。

図 41-1 血圧判定区分が正常高値・要指導・要医療の割合の地区比較(男)



女性も男性と同様に、いずれの市町村においても年齢があがると「正常高値・要指導・要医療」の判定を受ける者の割合が高くなっていった。45～49歳では30%未満の市町村が大部分で、女性は男性に比べて若い年代では血圧の高い者の割合がいずれの市町村においても低くなっていった。また、男性と同様に各年代において「正常高値・要指導・要医療」の割合が高い地域もあり、全体に血圧が高い者の多い地域とそうではない地域があることがうかがわれた。男性において血圧の高い者が多かった地域は、女性でも血圧の高い者が多い傾向がみられた。

図 41-2 血圧判定区分が正常高値・要指導・要医療の割合の地区比較(女)



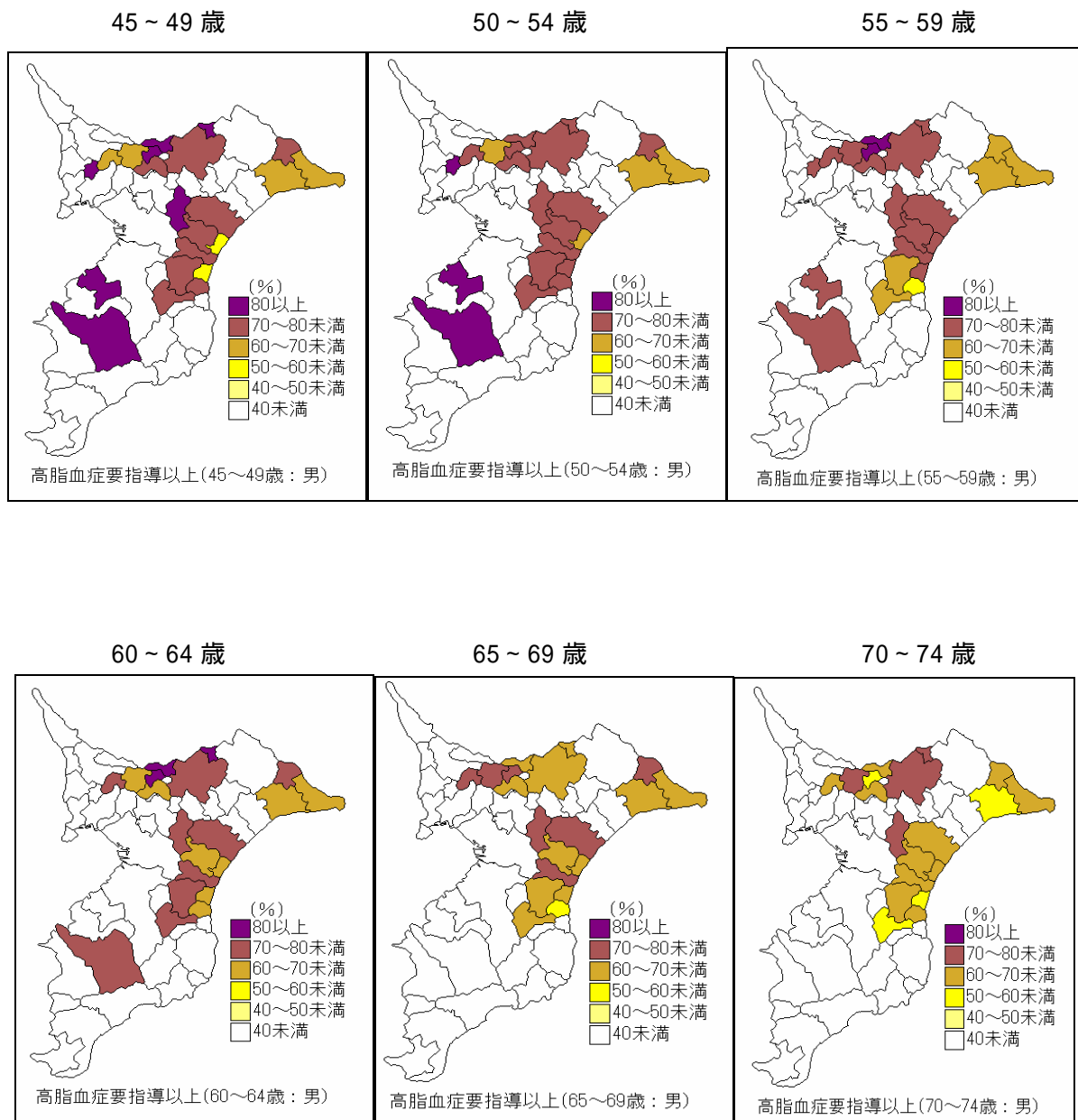
(3) 血清脂質

男性では、全体の傾向として年齢階級が上がると「要指導・要医療」の判定を受ける者の割合が減少していた。

また、各年代において「要指導・要医療」の割合が高い地域もあり、全体に血清脂質が高い者の多い地域とそうではない地域があることがうかがわれた。

特に45～59歳では血清脂質の判定区分が「要指導・要医療」の割合が70%を超えている地域が半数以上であり、受診者の特性や人数も影響しているとは考えられるが、この年代の課題と考えられた。

図 42-1 血清脂質判定区分が要指導・要医療の割合の地区比較(男)

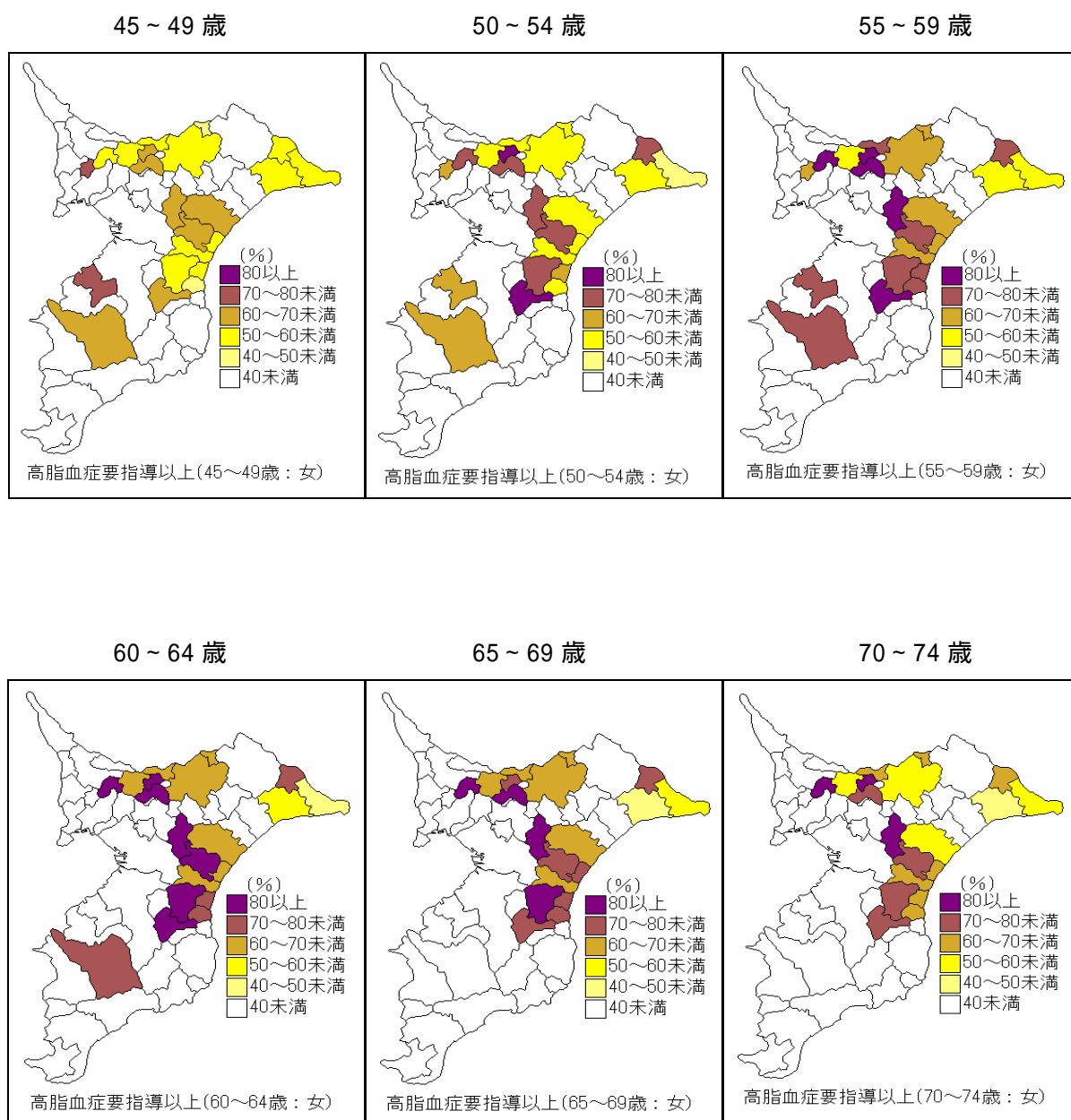


女性では、55歳から64歳において血清脂質が高い者の割合が増加し、年代が高くなるとその割合が減少していた。

男性と同様に各年代において「要指導・要医療」の割合が低い地域、高い地域があり、血清脂質値において地域差があることがうかがわれた。

男性において血清脂質の高い者が多かった地域は、女性でも血圧の高い者が多い傾向がみられた。また、血清脂質の高い者が比較的少ない地域は、血圧が高い者が多い傾向がみられた。

図 42-2 血清脂質判定区分が要指導・要医療の割合の地区比較(女)



女性では、男性と同様に年齢階級が上がると「要指導・要医療」の割合が増加する傾向がみられたが、男性に比べると該当者の割合は低かった。

各年代において「要指導・要医療」の割合が低い地域、高い地域があり、「要指導・要医療」の判定者の多い地域は男性でも該当者が多い傾向がみられた。

図 43-2 血糖判定区分が要指導・要医療の割合の地区比較(女)

